

大規模災害協定に基づく連絡会（大島ブロック）議事録

場所 : 大島支庁 四階大会議室

期日 : 令和4年5月19日(木) 14:40~15:30

参加者 : 大島支庁建設部 木佐貫 建設部長
安藤 建設課長
吉行 技術補佐
豊倉 技術補佐兼道路維持係長
倉山 技術補佐兼道路建設係長
加治屋 技術補佐兼河川港湾第一係長
吉永 技術補佐兼河川港湾第二係長
福元 技術調整係長
福永 技術専門員
胸元 土木技師

大島支庁瀬戸内事務所建設課

綾織 建設課長

大島支庁徳之島事務所建設課

久野 建設課長

中俣 河川港湾係長

久保菌 技術専門員

大島支庁沖永良部事務所建設課

出口 建設課長

測量設計業協会

福田真也 理事

福留 勝 理事

若松節雄

連絡責任者(正) (株)久永コンサルタント 里 (代理)

連絡責任者(副) (株)建設技術コンサルタント 中村

会議資料

大島支庁より

1. 資料1 令和4年度の連絡体制(大島支庁)
2. 資料2 大島支庁管内の公共土木施設状況
3. 資料3 管内の公共土木施設台帳状況
4. 参考資料 災害協力の支援フロー・協定書写し・実施要領・留意事項・各文書様式

測量設計業協会より

1. 資料1 大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定(経緯)
2. 資料2 災害支援協力のフロー図
3. 資料3 令和4年度の大島ブロック連絡体制(鹿児島県測量設計業協会)

議 事 録

1. 開会挨拶

木佐貫部長挨拶

福田理事挨拶

2. 資料の説明について

- 大島支庁資料 1, 2, 3 (大島支庁)
- 協会資料 1, 2, 3 (測量協会)

3. 質疑応答

【支庁より】

- ・ 令和2年度大隅地区で実施した大規模災害調査の状況について内容を確認したい。参加会社が57社多いとみられるが、延べ会社数での表記であるか。

【測量協会より】

- ・ 大隅地区では曾於市駐在管内、本庁（鹿屋）管内の全道路と全河川であり、調査対象は広範囲であり、多人数を要したことは事実である。
- ・ 支援した会社数については再度確認する。

【支庁より】

- ・ 昨年度も始良伊佐、北薩管内で実施しているようであるが、スムーズに活動できるよう気を付けることはないか。

【測量協会より】

- ・ 意見交換会のアンケートで、伐採の要望が1社あった。
- ・ 災害支援協力では、状況の把握等で目視できる範囲の報告をするので、基本的には伐採をしない考えである。しかし、被災場所を見に行くための伐採が必要となるケースがある。できる範囲の伐採は実施して、見える範囲の調査としている。
- ・ 災害調査報告は1週間が期限とされているが、降雨が続き現場に入れない場合がある。どの時点から1週間であるかの協議があった方が調査日程の調整や提出時期の設定がしやすい。
- ・ 災害復旧測量設計時の伐採は必要となる場合は支援協定と区別する必要がある。

【支庁より】

- ・ 見えにくい災害箇所ではUAV写真や動画での被災状況調査が容易と思われるので、検討できないか。

【測量協会より】

- ・ 災害調査は被災部の概略延長、高さ等が必要なため、UAV写真だけでは対応できないと考えられる。

【支庁より】

- ・ 災害査定ではUAV写真の他に、動画撮影（湧水状況の確認）はできないか。報告は写真となるが、動画撮影も協定の中に含まれると考えてよいか。

【測量協会より】

- ・ 報告は帳票（写真）となる。帳票に加え、動画提出の経験はない。また動画データは容量が大きく、データ受渡方法も、実施するかは今後の課題である。

【支庁より】

- ・ 協定の内容は平成 20 年のままであり、動画撮影やUAV画像の話は技術革新の一つであり、協会内で議論していただきたい。

【支庁より】

- ・ これまで、災害支援協力から災害復旧測量設計に移行する場合、契約まで1カ月程度を要している。この期間における、暫定契約書等を検討している。

【測量協会より】

- ・ 暫定契約書は契約までの、労災保険対応や金融機関説明の資料として考えている

【支庁より】

- ・ 暫定契約書は簡単にはいかないと思われるが、対応していこうと考えている。
- ・ 協議承諾書をもって、暫定契約書の代替えとして検討中である。

【測量協会より】

- ・ 本 件に関して、来週関係者との協議が予定されている。

【支庁より】

- ・ 今後の質問等については、技術調整係が窓口となり対応する。

